

第64期定時株主総会 事前質問 主なご質問への回答

第64期定時株主総会の開催に先立ち、株主の皆さまから事前にいただいたご質問のうち、主なものについて、以下のとおりご回答申し上げます。

質問1 東京ディズニーリゾートの今後のチケット戦略について

チケット戦略につきましては、1デーパスポートの構成比を高めていくことを重視しております。価格幅や価格帯については、幅広いゲストに受け入れて頂けるように柔軟に設定してまいります。また、従来と同じく、テーマパークの体験、ゲストの需要動向、市場の価格感度、パーク内の運営状況などを総合的に考慮して、変動価格制の価格帯見直しを検討してまいります。検討にあたっては、上限価格、下限価格ともに見直しの対象としております。なお、現段階では、そのほかの新しいパスポートの導入や、年間パスポートやマルチデーパスポートの販売などの今後の方針は決まっておりませんが、様々な選択肢を含め、幅広く検討してまいります。

質問2 株主優待制度の拡充予定について

当社では、株主の皆さまに日頃のご支援の感謝とともに、当社の主たる事業所である東京ディズニーランド、東京ディズニーシーをご見学いただき、当社事業に対するご理解を深めていただく趣旨から、株主用パスポートを提供させていただいており、概ねご好評をいただいております。また、当社株式を長期にわたり保有していただける株主様にさらなる感謝の意を表するとともに、引き続き当社および東京ディズニーリゾートの成長をご支援いただきたいという思いから、現行の株主優待制度に追加して、長期保有株主様向け優待制度も導入しております。株主様からは、東京ディズニーシーのファンタジースプリングスやパークのアトラクションへの優先入場、ディズニーホテルの優先予約などのご要望を頂戴いただきましたが、現在当社の株式を35万人近くの非常に多くの株主様に保有していただいている状況を考えると、他のゲストの皆さまへの影響が大きいことから、なかなか採用が難しいことはご理解いただければと思います。また、株主様の中には、利益向上、すなわち企業の成長により企業価値をさらに高めて欲しいとの声もあり、当然のことながらグループ価値の最大化を図るべく総力を結集し、ご期待に沿いたいと存じます。株主優待制度以外にも、配当をはじめとした株主様への利益還元により、トータルで株主の皆さまへ還元を行ってまいりたいと存じますので、ご理解いただきたいと思います。

質問3 現状の株価への考え方と株主還元方針について

株価は当社以外の外部要因の影響も受ける一方、当社の企業価値を反映したものであるとも考えております。当社といたしましては、東京ディズニーリゾートの魅力を向上させるための投資や、人的資本への投資を含むESG投資などを通じて、企業価値の継続的な向上に努めてまいります。株主還元につきましては、従来と同様、営業キャッシュ・フローを成長投資に優先的に配分したうえで、安定的な配当を目指すという方針を継続いたします。当社は株主還元を経営上の重要政策のひとつとして認識しており、経営環境や資本政策、マーケットの動向を総合的に勘案し、自社株買いなども含め、引き続き検討してまいります。具体的には、2024年～2025年度にかけて、1,800万株の自己株式の取得ならびに自己株式取得後の消却の方針を決定いたしました。このような施策も含め、引き続き株主還元を強化してまいります。

質問4 今後の東京ディズニーリゾートの開発計画について

東京ディズニーリゾートの開発につきましては、テーマパークを中心に舞浜の土地を最大限活用し、東京ディズニーリゾート全体で、ゲストの満足度と収益の最大化に向けた開発を行ってまいりました。開発を行うにあたり、10～15年先を見据えたリゾートの開発方針を策定しており、策定した開発方針に対して内外環境を注視しながら、毎年見直しを行い、具体的な開発計画を決定しております。

今後も「ファミリーエンターテイメント」の考えを基本に、様々な世代の方々にお楽しみいただけるコンテンツの開発や導入を行ってまいります。

質問5 パークで東京ディズニーリゾート・アプリを快適に利用するための今後の通信環境整備について

ゲストの皆さまからパークにおける通信環境に関するコメントを頂戴していることは当社としても把握しております。品質の更なる改善に向け、パークの各エリアにおける実際の電波状況を確認した上で、各携帯キャリア様とのアンテナ増設等に関する相談、連携を強化してまいります。

引き続き、世の中のテクノロジー進化と投資対効果を勘案しながら検討を行い、ゲストの皆さまが快適にパーク内で東京ディズニーリゾート・アプリをご利用頂ける環境整備に努めてまいります。

質問6 商品の早期欠品や商品の転売に対する対策について

商品の早期欠品や転売が発生していることは当社としても把握しており、ゲストの皆さまにご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

当社の発注や在庫管理の基本的な考え方として、より多くのゲストにお買い物をお楽しみいただけるよう環境の整備に努めており、加えて利益や社会課題である廃棄削減の観点も考慮し、欠品防止と過剰在庫抑制のバランスを踏まえて判断しておりますが、一部の商品については、早期欠品が発生してしまっている状況です。

商品の動向については都度振り返りを行った上で、適切な発注量、販売方法の検討を事前に行い、改善に繋がるよう調整を行っております。また、想定を超える高い需要により、早期欠品が見込まれる商品については、一部オンラインによる予約販売が可能となる体制も構築しております。特にイベント商品については、イベント実施期間と生産リードタイムの兼ね合いもあり、全てに対応することは難しいものの、心待ちにいただいている商品をゲストの皆さまへご提供できるよう引き続き取り組んでまいります。

転売についても、転売目的の購入を抑止し、より多くのゲストの皆さまに商品をご購入いただけるよう、事前に販売方法等を検討し、実施しております。具体的な対応策としては、スタンバイパスの発券による入店制限やチケット認証の導入、購入券の発券、販売個数制限を設ける等、様々な対応策を組み合わせ、コントロールを行っております。今後も高い需要が見込まれる新商品の販売体制については、常に振り返りを行い、必要な改善を図りながら、新たな対応策についても検討してまいります。

質問7 パークのエンターテイメントプログラムの再開について

コロナ禍以降、休止中のエンターテイメントプログラムが複数あることについて、ゲストの皆さまのご期待に沿えず、お詫び申し上げます。東京ディズニーリゾートは、ゲストの皆さまにいつお越しいただいてもさまざまな魅力にあふれた場所でありたいと考えており、その大切な要素のひとつがエンターテイメントであると考えております。また、東京ディズニーランド、東京ディズニーシーでは、それぞれのパークのテーマ性や構造等を踏まえ、各パークに見合ったエンターテイメントプログラムを検討し提供しております。

現在、検討段階のものもある為、詳細をお伝えすることは出来ませんが、各種プログラムの今後の計画については、パークの全体戦略、各種調査に基づくゲストの皆様へのニーズや評価等を踏まえ総合的に検討しており、計画が決まり次第、順次お知らせする予定です。

これからもエンターテイメントプログラムを通じて、ゲストの皆さまが過ごされる東京ディズニーリゾートの一日がより楽しいものとなるよう努めてまいります。

質問8 ファンタジースプリングスの株主プレビューを行わなかった理由について

現在、当社の株主数は35万人にのぼり、非常に多くの株主様に保有いただいている状況です。東京ディズニーシー「ファンタジースプリングス」の収容人数を考慮しますと、招待できる株主数に相当限りがあることや、その他運営面の課題等を踏まえ、総合的に検討した結果、株主様向けのプレビューは見送らせていただきました。

抽選で一部の株主様のみをご招待するという案も検討いたしました。ご招待できる株主様の人数や日程に限りがあり、多くの株主様が落選されてしまうことが想定されたため、公平性の観点からやむなく断念いたしました。

ご期待に沿えず申し訳ございませんが、何とぞご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

以上